

おんじゅく

The Onjuku Koho

72-11

昭和47年

第112号

千葉県御宿町役場発行



ずらり勢揃いした豆剣士たち

五億円を有効に活用

町の家計にも関心持とう



プールの入場料は貴重な町の財源となった

46年度決算と47年上半期財政事情の公表

みなさんから納めていただいた税金は、正しく使われているのだろうか。また住民のかたたちからの町政に対する要望やご意見が町の予算に十分盛り込まれているだろうか。といったさまざまな疑問にお答えする意味で、年二回町の家計簿（財政事情）を発表しみなさんのご批判をいただいております。

少ない町の財源をいかに有効に活用するかは財政の健全な運営が行なわれているかということになります。そして、みなさんの納めていただいた貴重なお金がどのような形でみなさんの生活の向上に役立っているかを知ることが、住民みなさんの権利です。

町の家計といってもみなさんの家の家計とはおのずとちがいます

歳入

足かせ3割自治

〔問〕 歳入のうち、自分の町だけでまかなえるお金はどのくらいあるのですか。

〔答〕 そうですね。自分の力でまかなえるお金を普通一般財源とか自主財源と呼んで

それは、みなさんの家計は、個人の利益が中心であり、町のそれは住民全体の利益につながらなければいけません。それだけに町の家計のやりくりは慎重にしかも有効適切に運営されることが望ましいのです。

ところで、年々町予算が膨張し、いまでは七億円を超えるまでになりました。これもみなさんが町政に對し、深い関心と理解をもって、いる証拠ともいえるでしょう。

このような状況のもとで、昭和四十六年度決算は、歳入四億八千二百二十三万円。歳出四億七千二百四十七万五千円。差引き八百六十四万九千円の残となりましたが前年度からの繰越金が一千三百九十四万八千円ありましたので、実質収支は五百二十九万九千円の赤字となりました。

【問】 歳入のうち、自分の町だけでまかなえるお金はどのくらいあるのですか。

【答】 そうですね。自分の力でまかなえるお金を普通一般財源とか自主財源と呼んで

【問】 歳入のうち、自分の町だけでまかなえるお金はどのくらいあるのですか。

【答】 そうですね。自分の力でまかなえるお金を普通一般財源とか自主財源と呼んで

いろいろな事業に対して不足するお金を国から充当して交付されるお金)が一億五千九百九十六万九千円。自動車取得税交付金三百九十七万九千円。繰越金一千三百三十九万九千円。諸収入三百三十八万六千円。財産収入四百七十一万八千円。使用料百五十五万円などがおもなものです。このうち交付税は広い意味では国の補助金ともいえますので、実質九千七百万円がほんとうの意味の自主財源です。ですからやはり三割自治に手がとどかないのが実情です。

財産収入が全体の1割

税目	負担額		
	収入済額	1人当り負担額	世帯当り負担額
町民税	22,900千円	2,651円	10,596円
固定資産税	24,949	2,889	11,545
軽自動車税	1,545	178	714
たばこ消費税	15,785	1,828	7,304
電気ガス税	4,999	578	2,313
計	70,178	8,124	32,472

〔問〕 町では毎年町有(庫)を処分して、財源にあてていますが、財産収入は決算全体の何パーセントくらいを占めていますか。

〔答〕 歳入決算額四千七百四十万一千円ですから、決算全体の九、八パーセントにあたります。

〔問〕 国や県からのヒモつきのお金も多いことと思いますが、どのくらいありますかまた、国や県の仕事は町の財源を圧迫するようなことはありませんか。

〔答〕 ご指摘のとおり、国や県の補助率の低い事業は、とうぜん町のお金をたして仕事をしますから、ふとこにひびきますが、町の家計のやりくりはつとめて補助率のよい仕事を重点的にこなっていますので事業も有利に行なわれると思います。国、県からの補助額は、一億二千五百万円ほど町へ入ってきました。

〔問〕 寄附金とか分担金といった名目で直接住民の負担となる場合がありますが、本質的には、税金と変わらない

いと思います。ですからこのような形のとりたては慎重に行なっていたいただきたいのです。

住民負担は税だけ

〔答〕 まったくそのとおりですよ。○寄附金とかいって

住民に負担をかぶせている例がありますが、感心できません。昨年の決算ですと寄附金は百五十八万円ほどです。決算全体からみて、

○、三パーセントですからほとんどみなさんにめいわくをかけたかっと思われ

ます。分担金については、受益者負担という形でおねがいしておりますので、ご理解いただけたと思います。

借金の返済は公平に

〔問〕 年々事業の規模が大きくなるにつれてお金のやりくりがたいへんと思われ

ますが、国や県からの借入れもふえていると思えますがいかがですか。

〔答〕 家計のやりくりからすれば、ついでに借金をせず、自分のお金でやれることが望ましいのです。でもみなさんからの町政に対する注

文が年ごとに多くなり、しかも複雑になっています。ですから、どうしても国や県からの借金をあおぐことにもなります。この場合、

とうぜん長期間の返さいですから、一時期だけの人々に負担をかけることは好ましくありません。いろいろ

な年代の人になるべく公平に負担していただくよう長期間にわたって返済しています。昨年度だけでも三十

六十万円の借入れをしました。(別表借入金)の現況を参考にしてください。

〔問〕 国の方針ですと、毎年減税減税といっていますが、

実際には年々税負担が重くなっているように思われますが。

高福祉高負担やむなし

〔答〕 国では減税に力を入れておりますが、反面、高福祉高負担という考え方もあり

ます。数えきれないほどの住民からの要求にこたえていくにはどうしても負担面を考えていかなくてはなりません。たしかに徴収額も年々伸びております。そのこととはとりもなわずみなさんの所得が伸びているということ。税金の伸びは定住人口の増と大規模施設の誕生におうところが多いわけですが、現在行なっている南総開発局を中心とした開発計画が実現すれば税金面でもかなり明るい見通しが立つものと期待されます。

〔問〕 限られたお金を有効に活用するしようずなテクニクはなんでしょうか。

切れ／なれあい負担金

〔答〕 やはり冗費をつとめてチエックすること。事務の簡素化をはかり、職員の効率的な配置を行なうこと。なれあいの負担金補助金などの再検討をすること。有効な歳入の道を見つめることが根本でしょう。

歳出

見積りどおりの仕事を

〔問〕 歳入のやりくりがいかに

苦しく、むつかしいかがよくわかりました。そこで限られたお金がいかに有効に使われたかを知るうえで歳出決算をみるポイントをおしえてください。

〔答〕 決算のポイントはやはり

予算と決算とでのくらしい数字の開きがあったかということにつきると思います。予算はあくまでも仕事に対する見積りですから結果的にできるだけ見積りどおり仕事ができただけがもつとも望ましいわけです。

節約と不用は大ちがい

〔問〕 歳出面でお金があまった

ことはいちがいに節約したとはいえないと思います。当然使われなければいけないものまで残したとなると住民に対する裏切りですからね。

〔答〕 そのとおりです。残った

お金(不用額といいます)が、節約して残ったということなら結構ですが、例えば教育振興費などのお金が残ったということだと教育の後退であって、負担しなくともよいお金を負担させられたと同じ結果になりますから、この辺ははつきりさせなければいけません。

建設事業に二億円

〔問〕 あいかわらず建設事業を

積極的に行なっていますが昨年はどの程度のお金を注ぎ込んだのですか。そしてその中でわたしたちが負担したお金はどのくらい含まれているか教えてください。昨年为例の災害によつてそういった支出がありましたか、普通建設事業に二億一千六百万円。このうち単独事業に一億七百万円

〔問〕 重点的に行なつた事業に

ついて教えてください。災害復旧事業に五千五百七十万円ほど使いました。そしてこのうちみなさんからの負担は約五千万円です。

災害復旧に全力投球

〔答〕 災害復旧に全力投球した

ことはもちろんですが、そのほか、町道の改良整備、農漁業振興対策、観光産業の充実、教育施設の整備などにかんがりのウエイトを置いてきました。

〔問〕 人件費の高騰はどのも

同じでしょうが、決算額に占める割合はどのくらいになっていますか。

一億円越えた人件費

〔答〕 人件費総額は、一億六十

万円。そのうち、職員給が六千七百万円。決算総額に對して人件費は二割強。うち職員給は一割三分強となっています。

きびしい態度で財政運営を

これからの財政のあり方
以上で町の四十六年度の家計のやりくりについての答えをおわりますが、これからの町の家計のやりくりはいっそうむつかしく複雑な問題をはらんでくると思います。行政の広域化、事業規模の拡大、それに伴う当然増経費のふくれ、住民みなさんからの行政に対する注文もふえてきましよう。それに比例して職員の数確保、事務能率化のための機械化など、かぞえあ

げたらきりがありません。一方歳入は、国・県からの事務や事業の委託もふえてきます交付税や補助金も規制がきびしくなってくるでしょう。といつていきおい住民負担を増やすこともできません。そのよ

うな意味からますます町の家計のやりくりの困難が生まれてきます。それだけにきびしい態度で財政を運営し、いかにして住民福祉を向上させるかを真剣に考える時期にきているといえるでしょう。

昭和47年度一般会計歳出予算性質別補正状況

(単位千円)

区 分	予 算 額				構成比
	当 初	6月補正	9月補正	計	
1. 消費的経費	203,333	6,266	6,070	215,669	30.7
イ. 人件費	114,744	△ 6,392	2,229	110,581	15.7
ロ. 物件費	42,906	△ 7,377	2,273	37,802	5.4
ハ. 維持補修費等	2,900	—	—	2,900	0.4
ニ. 扶助消費等	4,180	—	44	4,424	0.6
ホ. その他消費的経費	38,603	20,035	1,324	59,962	8.6
2. 投資的経費	195,527	35,655	177,532	408,714	58.1
1) 普通建設事業費	116,841	35,655	166,597	319,093	45.4
イ. 補助事業	6,950	3,000	10,572	20,522	2.9
ロ. 単独事業	109,891	32,655	156,025	298,571	42.5
2) 災害復旧事業費	78,686	—	10,935	89,621	12.7
3. 公債立出	23,440	—	—	23,440	3.3
4. 積立	—	—	55,000	55,000	7.8
5. 繰出	—	—	700	700	0.01
計	422,300	41,921	239,302	703,523	100



●完成したおもな事業●



被服・理科・木工など実習を主体とした授業の行なわれる特別教室

子どもたちの学習、いこいの場。
岩和田児童館



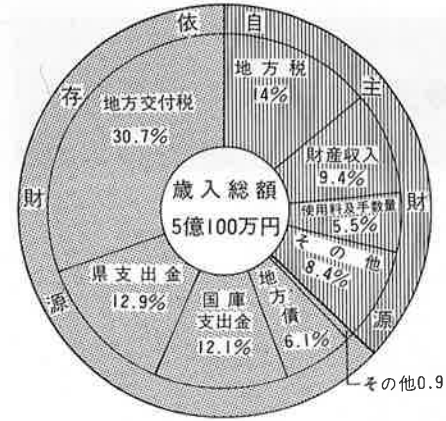
三年の継続事業として完成した本格的観光道路。記念碑道路



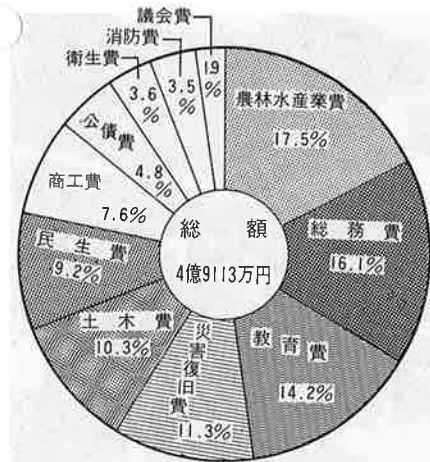
災害復旧に全力投球。現時点では、ほぼ八割の復旧をみました。

農家経済の動脈。小幡立山農道の整備が進められました。

第 四 昭 和 46 年 度 普 通 会 計 歳 入 決 算



第 四 昭 和 46 年 度 普 通 会 計 歳 出 決 算



教育債 (体操場, 教室)	借りているお金	8,088万円
土木債 (道路, 橋など)		3,963万円
特別債 (保育所, 児童館, こみ焼却場)		2,876万円
農林水産業債 (漁 港)		1,441万円
災害復旧債 (農林, 土木施設)		1,490万円
公営住宅債 (住 宅)		629万円
その他債 (減税補てん, 消防会館)		468万円
特別会計分 (プール, スキー場地)		6,594万円
計		25,549万円

区 分	当初予算	6月補正	9月補正	計	対前年度比較		
					増減額	増減率	
一 般 会 計	42,230	4,192	23,930	70,352	31,380		
特 別 会 計	有 線	749	0	30	779	779	100
	プ ール	1,060	0	151	1,211	1,211	100
	国 保	9,713	0	307	10,020	1,765	
その他	布施学校	3,740	0	0	3,740	3,740	100
計	57,492	4,192	24,418	86,102	38,875	300	

昭 和 四 十 七 年 度
会 計 別 補 正 状 況
(単位万円)

昭 和 47 年 度 一 般 会 計 歳 入 予 算 款 別 補 正 状 況 (単位万円)

科 目	予 算 額				構成比
	当 初	6月補正	9月補正	計	
町 税	7,063	186	0	7,249	10.3
地 方 譲 与 税	200	0	0	200	0.3
自 動 車 取 得 税	350	0	0	350	0.5
地 方 交 付 税	13,344	755	0	14,099	20.1
交 通 安 全 対 策 交 付 金	20	0	36	56	0.1
分 担 金 及 負 担 金	171	0	6,541	6,712	9.5
使 用 料 及 手 数 料	1,028	13	0	1,041	1.5
国 庫 支 出 金	7,438	200	1,404	9,042	12.9
県 支 出 金	3,584	193	1,585	5,362	7.6
財 産 取 入	3,607	2,800	14,496	20,903	29.7
寄 附 金	171	0	△ 90	81	0.1
繰 越 金	700	0	165	865	1.2
諸 収 入	2,116	45	104	2,265	3.2
町 債	2,440	0	△ 310	2,130	3.0

町 有 財 産 の 状 況

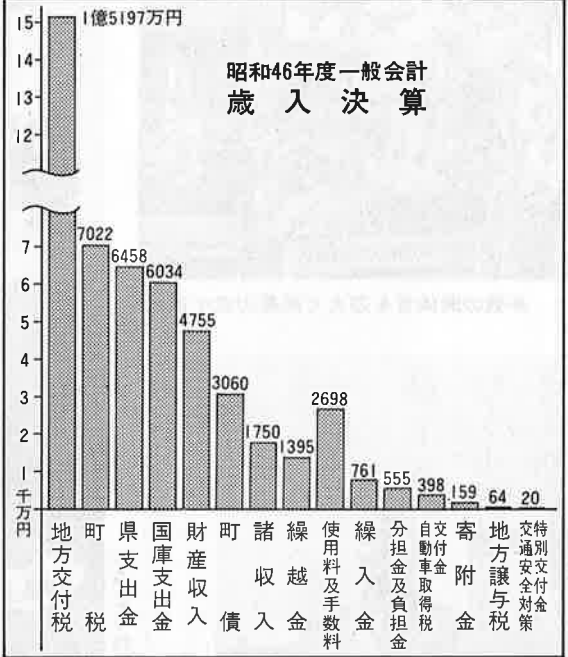
区 分	昭 和 45 年 度 末 現 在 高	昭 和 46 年 度 中 増 減 額	昭 和 46 年 度 末 現 在 高	
建 物	本庁舎公共財産他	102,006.85 m ²	0 m ²	102,006.85 m ²
土 地	田	5,120 m ²	0 m ²	5,120 m ²
	畑	7,642 m ²	0 m ²	7,642 m ²
	宅 地	20,863.04 m ²	△ 6,776.43 m ²	14,086.61 m ²
地 物	山 林 原 野	786,659 m ²	△ 26,606 m ²	760,054 m ²
	雑 種 地	137,347 m ²	△ 2,166 m ²	135,181 m ²
物 権		11,254 m ²	0 m ²	11,254 m ²
出 資 に よ る 権 利	625,000 円	236,000 円	861,000 円	
基 金	1,116,208 円	0 円	1,116,208 円	
物 品	ス ー ー バ ス	1 台	0 台	1 台
	乗 用 車	1 台	0 台	1 台
	指 揮 車	2 台	2 台	4 台
	原 付 自 転 車	6 台	0 台	6 台
	2 t 積 ト ラ ッ ク	2 台	0 台	2 台
	ジ ー プ	1 台	0 台	1 台

町 債 (長 期 借 入 金) の 状 況

区 分	計	一、消費的経費	二、人件費	三、基本給	四、その他	五、公債費	六、物件費	七、維持補修費	八、扶助費	九、投資的経費	十、投資及出資	十一、補助費	十二、扶 助 費	十三、単 独 費	十四、災害復旧事業費
計	四七二、四七五	五五、七三三	一〇七、七一九	一〇八、三二一	二一六、〇四〇	二七、七七三	一、七〇〇	五、八一五	一、七〇〇	二七、七七三	二一六、〇四〇	二七、七七三	一、七〇〇	一〇七、七一九	五五、七三三

性 質 別 歳 出 決 算 状 況
(単位千円)

昭和46年度一般会計 歳入決算



文化施設の整備と 環境美化に力点を

予算編成を前に注文

私は、昭和二十六年この御宿の地に居を定め、現在にいたりましてがその間、九二十年が経過いたしました。昭和二十六年ころの御宿と現在の御宿を比較してみますと、たしかにすべての面で発展改良されてまいりましたことは喜ば

しいことですが、さらに一歩前進し、つぎの施策を実行していただきたいと思っております。

一、図書館の設置。文化向上の面で旧家政高校跡にたくさん教室がそのままに残されておりますので、これを利用して

昭和四十六年度 普通会計実質収支の状況

区分	昭和46年度 (A)	昭和45年度 (B)	比 (A-B)
歳入 総額	501,002	420,228	80,774
歳出 総額	991,127	406,280	84,847
歳入 歳出 差引 額	9,875	13,948	△ 4,073
翌年度へ繰越すべき財源			
繰越金	0	0	0
繰越明許費	0	0	0
繰越し	0	0	0
繰越額	0	0	0
計	0	0	0
実質収支額	9,875	13,948	△ 4,073
単年度収支額	△ 4,073	△ 3,957	△ 116

(単位千円)

町民が読書できる場所をつくらせてほしい、あるいは貸出しなどやっていただけならなおよいと存じます。

二、側溝の完備。衛生面で特に各家庭で流す、すべての汚水が滞りなく流れるための側溝を完備していただきたい。

三、海岸をきれいに。白砂青松の御宿海岸のイメージも近年夏の海水客の多いため、たいへん汚されております。

昭和二十五年ころを知っている方が御宿の海にいられて余り汚なくなつたのをなげかれました。海水浴時期ばかりで

なく、四季を通じて美しい海辺になってほしい。観光面でマイナスにならぬようにおねがいしたいと思います。

四、子どもの遊び場。各区に「カ所」をつ作られることを広報により知りましたが、幼児、児童などを交通戦争から守るためにも早急に必要なものと思います。子どもたちが自転車で乗るのも制限されている

現在、もっとも広場があつて思いのままに遊べたらと考えさせられます。

五、夏季の魚、野菜の直売所設置。本年駅前通りに設けられました両直売所は、われわれ消費者にとつて好評でした。今後もつづけてほしいと思えます。高価なあわび、さざえ干物ばかりでなく生鮮魚な

ど日常食膳にのせることのできるものも売ってほしいと思えます。また、野菜の面でも午後買に行くのと品薄で選択できず仕方なくそこにあるものを買つてくるということになりますので、もっと生産農家によびかけて品物を豊富にしてほしいと思えます。以上の点を特に主婦としておねがいしたいと思います。

(須賀 栗原以祐子)



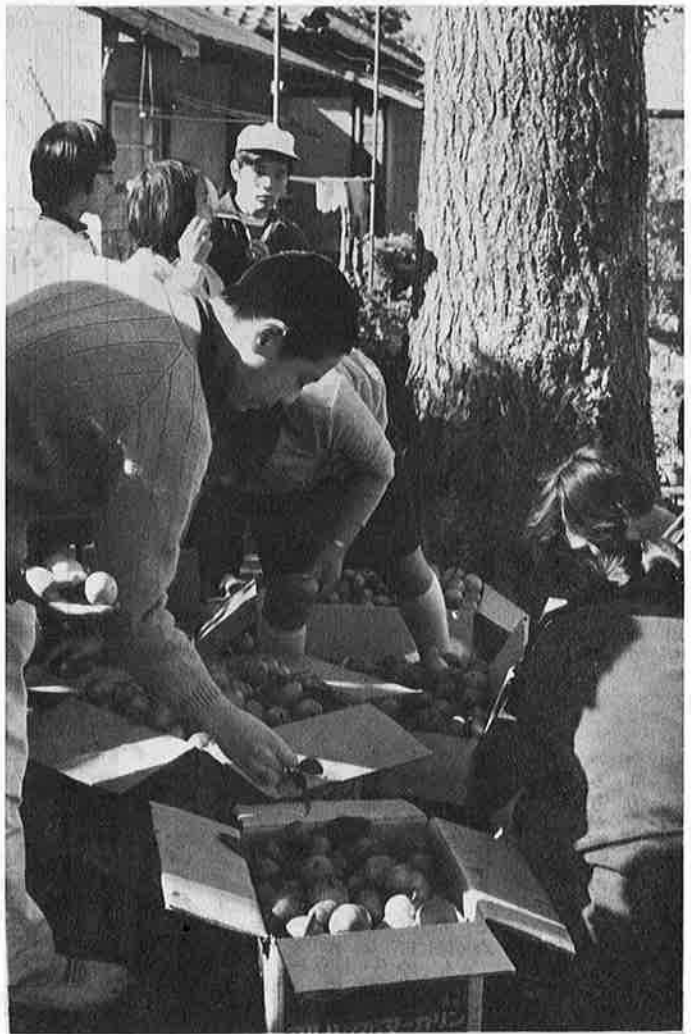
子どもの遊び場をもっと



多数の関係者を迎えて除幕の式が進む



井上文吉、名誉町民除幕直後の像



つみとられたミカンを選別しダンボール箱につめる



黄色いダイヤだと緊張した表情でハサミを入れる

ワイイ、黄色いダイヤだ

布施小学校では、十一月二十九日、校庭の裏庭にあるみかんのみかん狩りをしました。

ことしはみかんの豊作の年といわれ、枝もたわわに黄色いみかん

が陽に光って美しい。先生の号令でいつせいにみかんをもぎとりました。生徒たちは、「黄色ダイヤ」だといって喜んでいました。

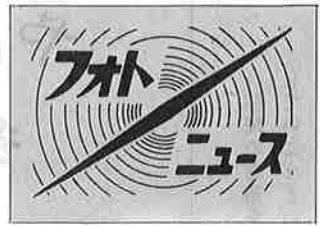
井上文吉氏胸像除幕式

前町長、勲五等、名誉町民井上文吉氏の功績をたたえる胸像が完成し、十一月二十八日、午前十一時から旧家政高校講堂前で盛大にしかも厳粛に行なわれました。

氏の数えきれない事績と高潔な

人格を敬慕する町民多数と県内外からのたくさんの方々が見守るなかで、氏のお孫さんが除幕のテープを引きました。

この像は、新進彫刻家竹田京一氏の手によって製作されました。



開発の槌音ひ びく小浦地先開 発工事に着工

南総開発の要ともいえる御宿小浦地先の大レジャー施設の進入道路の輸入式が十一月十三日、現地で関係者立合いで行なわれました。四十八年度一部オープンを目指し、大型建設機械をフル回転させています。

工事が着々すすむ



大型機械を駆使して、道路がつくられていく

人、優先道路を改良

通学路交通安全道路として、国の補助事業の認定を受けた、小学校前道路（停車場新町線）の歩道整備工事は、年内九割完成を目指して急ピッチで進められています。工事費三百万円のうち、 $\frac{2}{3}$ を国の補助金でまかさないです。この歩道（幅一メートル）が完成しますと、駅から国道へ向って一方通行となり、児童の通学路として欠かせない道路となります。

山崩れの 危険うすらぐ

急傾斜地（傾斜度三十度以上）の崩壊による災害から住民の生命を保護するために、コンクリートによる吹付け工事が行なわれています。

岩和田漁業組合裏の山の土量二千立方メートルを削り、急傾斜のこう配をゆるめるものです。この工事は、国の補助が八割つき、二割の町負担で行なわれるもの。工期は六百五十万円で、鈴清建設が請負いました。



がけくずれから人命や財産を守る

●町政懇談会

やはり道路改良に関心 各区で活発な意見交換



素直な意見を発表する部落民

住民の希望を一つでも多く町政に反映させ、住みよい町づくりをしていこうという考えから、ことしも町政懇談会が開かれました。十月二十三日の須賀区を皮切りに各区をまわった懇談会の結果はつぎのようなご意見や注文がございましたので要約して発表します。

須賀区

十月二十三日 出席者 男二十名、女十五名計三十七名。

◎道路改良関係

- 1、通学路を改良してほしい(式清さん前)
- 2、国道添いの側溝をつけるように
- 3、松ノ屋さん脇から部田前に抜ける道路の舗装
- 4、細い道でも利用の多い道は舗装してほしい。
- 5、最明寺前のトンネルから部田前新道にぬける中間道の改良を
- 6、天皇神社から海岸へ通ずる道、清水川護岸と国道にはさまれた低い土地の水はけが悪い。
- 7、萬屋さん脇、サゴへさん前久保ガード下の側溝がなく困る。
- 8、実谷へぬける林道の荒れがひどい。
- 9、共同墓地から黒潮センターにぬける道をつくってほしい。

◎道路関係以外

- 1、町営住宅近辺に防犯燈を
- 2、風水害対策のための放水路をつくっては、

- 3、御宿港から岩和田港間にテトラポットを投入し、波を靜かにするとともに、砂浜がせまくならないようにしてはどうか。

岩和田区

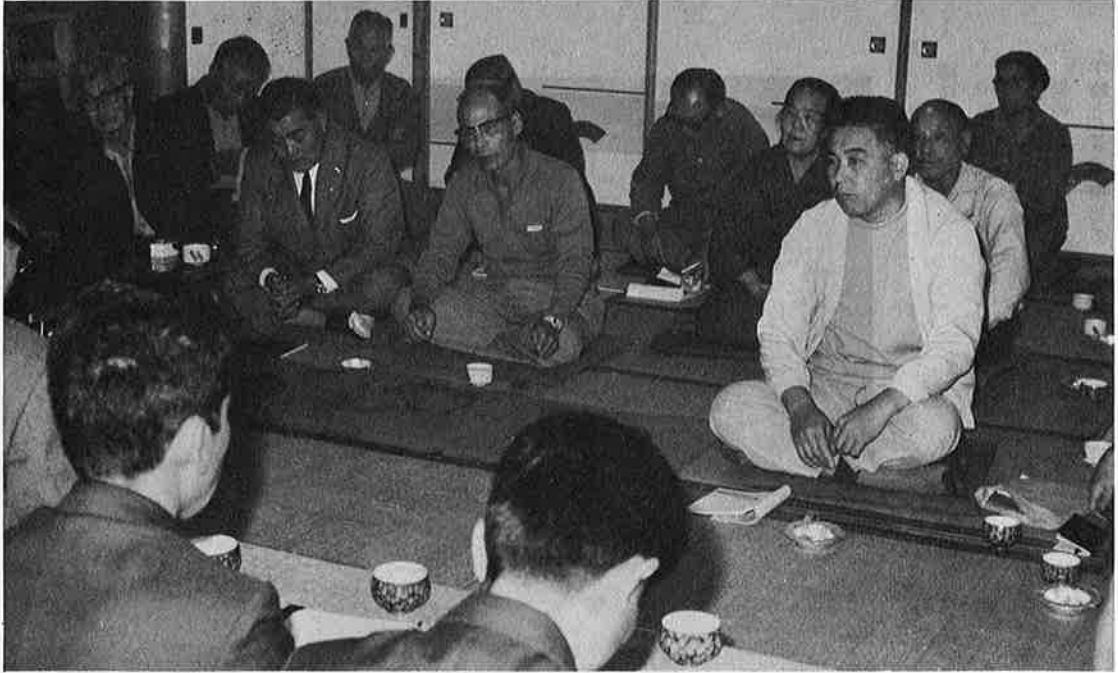
十月二十四日 出席者 男十五名、女八名計二十三名

- 1、水道計画について
- 2、小学校は体育館がなく雨の日は困る。建設予定は、
- 3、川の改修、海岸通りの側溝について
- 4、砂山の開発計画はあるのか
- 5、後宿の道路舗装計画について
- 6、防犯燈を増やしてほしい
- 7、年金徴収カードは部落別に二十日までに各役員まで届けてほしい。
- 8、火葬場の計画について

実谷区

十月二十五日 出席者 男十八名

- 9、ゴミ収集のため、数戸分を一カ所に集めるとその家の人は年中めいわくしている。
- 10、婦人会で料理講習を開いたが、学校に設備がなく困った
- 1、大型農道の見直しについて
- 2、新設道路の再検討をのぞむ
- 3、災害復旧工事の見直しについて
- 4、道路用を買収された土地の登記を進めてほしい。とりあえず税だけでも減ずるように
- 5、年間観光客を呼べるような施設はできないか。
- 6、消防分団詰所の建設
- 7、林道工事の受益者負担
- 8、ダムの計画について



圧倒的に多かった道路改良への注文

新町区

十月二十八日 出席者 男二十名、女五名、計二十五名

- 1、側溝の整備について
- イ、清月さん脇から中学校に通ずる道路の側溝
- ロ、新町大通りの側溝にフタを
- ハ、松風荘さん脇から岩和田に通ずる側溝
- ニ、新町東京屋さん前通りの側溝
- ホ、四ツ角から岩和田に通ずる道路の側溝のフタを
- 2、現在四組ある有線テレビの組合の統合について
- 3、小学校の統合はどうなったか。
- 4、町有山林の売却と売却金の使途について。
- 5、新町すそなし川の改修について
- 6、ゴルフ場、保養団地等の開発計画について
- 7、現役場敷地の利用計画について
- 8、共同墓地の移転と霊園の計画について
- 9、町営住宅内の道路舗装について

10、六軒町町営住宅周辺の雨水の処理について

上布施区

十一月七日 出席者 男十四名

- 1、災害復旧工事の進行状況と工事の着工順位について
- 2、し尿、ごみ処理の加入について
- 3、学校プールの建設について
- 4、家畜のし尿処理対策について
- 5、保育園の建設について
- 6、新宿トンネル入口のガードレールの修理
- 7、回らんを統一してだそうです
- 8、ダム計画について
- 9、道路改良関係
- イ、くにこう橋線の舗装
- ロ、立山、小幡路線、丸山線の工事見直しについて
- ハ、三島と接続する主要路線である、さわたま路線の舗装をのぞみます。

六軒町区

十一月八日 男四名、女八名 計十二名

- 1、松くい虫の防除について
- 2、観光の発展と青少年の育成
- 3、天の守住宅地の行政区画に

ついで

- 4、夏以外の観光計画と施設計画について
- 5、産業振興計画について

- 6、町有地の面積、売却金額、今後の処分について
- 7、子どもの遊び場前の道路の駐車禁止について

- 8、住宅内の道路整備、天理教前から関連道へぬける道路の整備、登記所へぬける道路の側溝と排水について

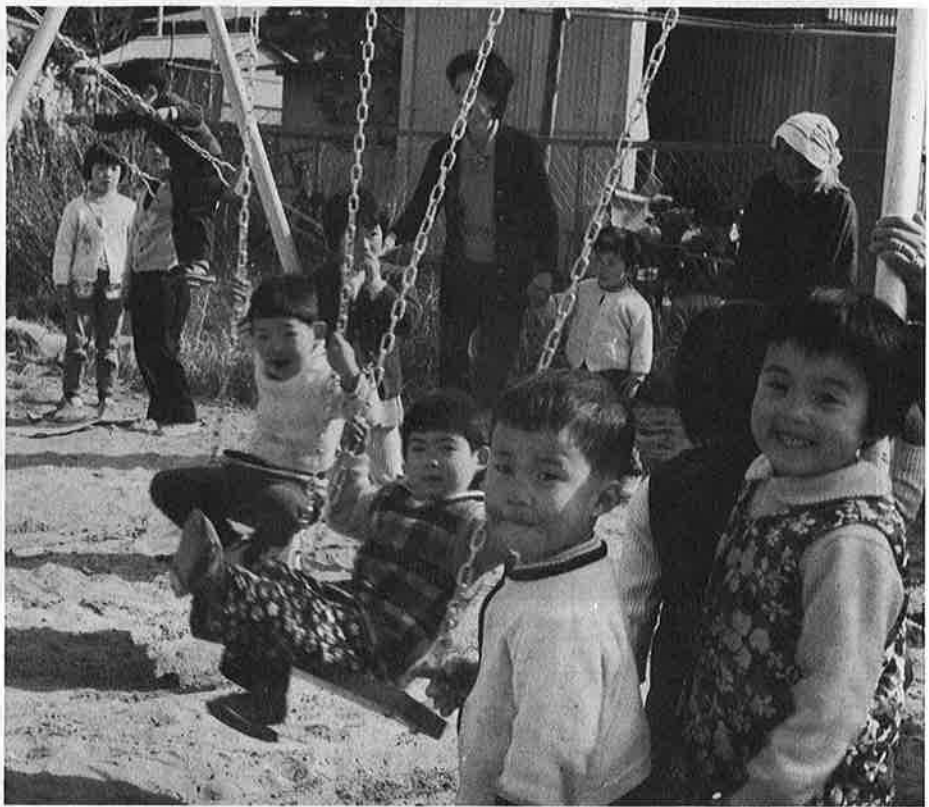
浜 区

十一月九日 男六名、女一名 計七名

- 1、町開発計画について
- 2、海岸の砂がだんだん少なくなっている、なにか対策がないか。
- 3、夏季直売所の補助を公平に
- 4、身障者（特に子ども）の対策について
- 5、側溝が浄化槽の排水で大きい、汚水処理に問題があるのでは、
- 6、海岸に古材を捨てさせないように。

久 保 区

十一月十日 男二十三名 女二



子どもの遊び場は、住民にたいへんよろこばれている

名、計二十五名

- 1、道路関係
- イ、旧第二保育所裏の道路改良について
- ロ、岩の井さん前の道路は通学路として利用している。

ハ、中学校前の道路舗装について

道の区画と改良を望む。

- ニ、旧郵便局前から小学校裏にぬける道路の改良
- ホ、久保県道上の側溝と下流

の側溝整備。福祉の家の前の排水。

の側溝整備。福祉の家の前の排水。

- 2、道路敷（赤道）の境界をはっきりしてほしい。すむぎの赤道の整理を
- 3、道路工事の監督、設計を厳

重に

- 4、子どもの遊び場をつくってほしい。
- 5、小学校の統合について
- 6、清水川の汚染対策について
- 7、水洗便所の汚水対策について
- 8、し尿処理車の小型を配車できないか。
- 9、ゴミ処理場の野外投棄による下流の害はないか（田や飲料水）
- 10、松くい虫の防除について
- 11、夏季の物価対策について
- 12、老人いこいの場建設について

高 山 田 区

十一月十一日 男十七名、女三名、計二十名

- 1、西林寺く高山田線の工事について
- 2、川前道路の工事について
- 3、工事の工期を守らせる
- 4、ゴミ、し尿収集の希望について
- 5、小学校の統合について
- 6、火葬場の位置について
- 7、これからの農業の方向を説明してほしい。
- 8、道路の改修を望む

道路の改修を望む

成人肥満につながる

赤信号



肥満の敵は運動不足 1日1回全校生徒のなわとび(岩小にて)

す。

$$\text{ローレル指数} = \frac{\text{体重(kg)}}{\text{身長(cm)}^3} \times 10^7$$

記号	ローレル指数	段階
A	160~	ふとりすぎ
B	145~159	ふとっている
C	115~144	標準
D	110~114	やせている
E	~110	やせすぎ

それでは、いったい肥満の原因はなんだろうか。脳の視床下部にある摂食中枢、内分泌等の異常による病的なもの。過食で起こる単純なものなどがおもな原因としてあげられています。

豊富な食物、便利な生活が過食による肥満を招きます。この肥満がくせもので、高血圧や糖尿病、心臓病などと関係が深いから油断は禁物です。

この肥満が関心を集めたのは、昭和三十代ころからです。最近では、おとなの五パーセント。子どもの二、三パーセントが肥満といわれ、その数は、五百万人をく

だらなといわれています。

当町における肥満対象児童、生徒の部落別実態をみると、別表のとおりですが、岩和田区の児童、生徒が全体の四割強を占めています。そして他町村の実態も海岸に近いところの児童、生徒に肥満が多いと報告されています。このことからすると、食物に関係が深いように思われます。

一般に人がふとりだしてくる時期というのがあって、乳児期、思春期、中年期の三つがあげられています。肥満児に特有な体力、精神面の傾向をみると、体力や運動能力は、自他ともに認められているようになり悪い、たとえば、垂直とび、ふみ台などは、普通児に比してかなり低いのです。五十メートル走、走り幅とび、懸垂力も劣っています。特に連続坂あがりの成績が悪い、しかし背筋力だけは普通児よりすぐれています。

精神面をみてみますと、行動の積極性に乏しい。柔軟性に欠ける内気で静的、また瞬発力も十分でないことを自覚している児童が多いのです。男子は、肥満をそのわりに気にしていないのですが、女子は、外的な容姿がみにくいとい

うことを気にして精神的な苦悩をもつものが多いといわれています。そしてこの傾向は上級生にいくほどいちぢるしいといわれるのもうなづけるところです。学業の成績は比較的良好と報告されています。

1、食べすぎ 2、運動不足 3、太りやすい体質ということだけで簡単にたづけられないところがあります。なぜなら成人病の首位を占める動脈硬化の病変は子どものときから、知らず知らずのうちには起ってきてしだいに悪くなってゆく可能性があるからです。

肥満児の早期発見と食生活の改善、運動、精神面の指導にも気を配っていきたいものです。

肥満児童

生徒の実態

部落	男子	女子	全体	人数
岩和田	45.6%	40.0%	41.6%	17人
新町	18.2%	13.3%	14.6%	6
久保	9.05%	16.7%	14.6%	6
布施	9.05%	6.7%	7.3%	3
浜	9.05%	6.7%	2.4%	1
須賀	9.05%	13.3%	12.2%	5
六軒町	6.7%	4.9%	2.4%	2
高山田	3.3%	3.3%	2.4%	1

望ましい町の未来像

町開発基本構想(その2)

二、商業振興施策の方向

今後の本町の商業振興については、定住人口の増加が大前提となる。

観光開発部門でふれたように保養団地の建設等が大きな発展要素となろう。また、観光シーズンの延長により商店の協同組織化、専門店化、規模の拡大等が可能となるがそれにはつきのような施策を推進する。

◎企業診断制度の充実により店舗設備の近代化、経営の合理化を進める。

◎商業環境の整備と共同化の推進

◎各種制度資金の活用により、金融の円滑化をはかる。

ホ、工業振興施策の方向

本町は工業立地条件に恵まれないため、経済発展の推進力である工業がふるわず、既存の工業経営はいずれも零細規模である。

今後の工業発展にあたっては立地条件を有効に活用しよう。工業の配置を考慮するものとする。すなわち、豊富な観光資源の開発のため阻害要因

とならない工業、農村地域振興のための有益な軽工業を導入するものとする。

誘致する工場の適否については十分な検討を行ない、住民の納得を得るよう配慮するものとする。なお、既存の工業については工場集約化、経営の近代化、組織化を推進するものとする。

(3) 生活環境整備の方向

イ、環境衛生施設の整備

住民の生活に密着した問題であるし尿、ごみ処理、上下水道等の環境衛生施設の整備は町のもっとも重点をおくべき仕事であり、加えて将来健全な観光保養地として発展が期待されているので、これらの整備拡充につとめ快適な住みよい町をつくりあげる。そこでつぎの諸施策を強力に推進する。

◎し尿処理

現在組合方式で経営しているが、今後人口の増加、処理範囲の拡大により現在の施設では対応できないので、施設の拡充を図る。

◎ごみ処理

将来は、町内全域を対象に処理をすすめる施設の整備をはかる。

◎下水道

既成市街地を重点に排水路、下水道を整備する。

◎公害対策

最近各地に公害問題が発生しているが、本町としても産業廃棄物、水質汚濁等に積極的に対処するとともに、未然防止につとめ、町民の健康で住みよい環境を確保する。

◎火葬場、霊園の整備

現在、火葬七十パーセント、土葬三十パーセントの比率であるが、極力火葬に切りかえていくために、火葬場の整備をはかると同時に町内に点在する墓地を霊園に統合したい

ロ、防災施策の方向

住民の生命、財産をまもる防災体制は消防団に依存しているが、最近の就業傾向から団員の確保が困難となりつつあるので、将来、常備消防体制をはかるとともに災害未然防止につとめる。また、市街地の拡大、保養住宅地の新設、建物の高層化に対処して特殊

消防車等の整備を図る。

ハ、交通安全施策の方向

本町における交通災害は自動車、バイク、観光客の増加等により、年々多発の傾向にあるので、歩道、信号機、ガードレール等の安全施設の設置、交通安全に関する知識の普及につとめ事故の絶滅をはかる。

(4) 社会福祉施策の方向

観光開発を重点とした産業の発展に伴い、総合的に町民の生活水準は向上するものと予想されるが、社会環境の変動、傷病、高齢等各種の事情により発展からとり残された人々に対する社会福祉事業について、つぎの諸施策を推進する。

イ、心身障害対策

障害の程度に応じたきめこまかな援護の手をさしのべるとともに、各自の能力に合った仕事に従事させ更生意欲の助長につとめる。

ロ、老人福祉対策

常に社会参加できるよう図ることおよび豊かな老後の生活を送るため、福祉施設の整備、老人クラブの育成強化を図る

ハ、児童福祉対策

二人目の ミセス月の沙漠

初代ミス月の沙漠の一人先崎裕子さんが、十月二日結婚しました。先の石躍さんに続いて二人目のミセス誕生です。彼女先崎さんも月

の沙漠の王子さまのような人と第二の人生に旅立ったのです。いつでも幸せにミセス月の沙漠よ

公民館長 関敬氏きままる

社会教育の推進母体として、注目されている公民館の館長と運営審議委員がきままりました。また、御宿町文化財審議委員もきままりましたのでお知らせします。

御宿町公民館長

氏名	住所	備考
関敬	御宿町須賀	

御宿町公民館運営審議委員

氏名	住所	備考
江沢一雄	御宿町六軒町	P T A 連協会長
岡村甲純	# 久保	学識・経験
佐藤進一	勝浦市関谷	御宿小学校長
平山康夫	夷隅町万木	御宿中学校長
大地直枝	御宿町上布施	婦人会長
君境秀夫	# 須賀	青連少協相談員長
野村かつ	# 岩和田	岩和田漁協婦人部長
尾上明弘	# 新町	青年団体連協会長
岩瀬君太郎	# 新町	学識・経験
山口尚子	# 須賀	保育園母の会々長
神定長治	# 高山田	農協組合長
小林佐美	# 久保	体育協会長
浜野よね	# 浜	浜漁協婦人部長
秋場一哲	# 新町	商工会青年部長
神定保次	# 浜	青年クツレーア代表(ニコニコ会々長)

御宿町文化財審議委員

氏名	住所	備考
片岡要	御宿町新町	郷士史
藤江真一	# 六軒町	#
高梨秀治	# 久保	刀剣・書画
村田萃	# 久保	
石田行雄	# 岩和田	
鶴岡節雄	大原町新田	県文化財調査委員 大多喜女子高教諭

雑踏事故を防ごう

としもあとわずかの日数を残すのみとなり、一年間の仕事の整理に、お正月を迎える準備になにかと気ぜわしさを感じさせます。ところで、これから年末年始にかけては、人々のおおぜい集まる催しがたくさんあります。年末の商店街での大売出しにはじまり、年始の初もうでと、各地はたくさんの人々でうずまります。また、バスや列車は異常なほどの混雑となるのが毎年の例です。

こうしたなかで心配されますことは、これらの人混みによって、ケガ人がでるなど大きな雑踏事故が発生しないか、ということですが、幸い、県内では最近これといった大きな雑踏事故は発生していません。しかしながら、他の県ではしばしばみられます。大売出しにしろ、初もうでにしろ、それは独特なふんい気があり、ちよつとした油断や不注意から、いつ大きな事故が発生するとも限りません。希望あふれる新年を迎えようとするときに、また、おめでたいお正月早々に、悲惨な事故が発生するようであってはなりません。混雑が予想される場所に向くときは、つぎのことに注意し事故をなくしたいものです。

- ◇ お年寄りや子どもは混雑する時間を避けましょう。
- ◇ できるだけ軽装で
- ◇ 酔いはさましてから
- ◇ 警察官や交通整理員の指示や誘導に従いましょう。
- ◇ 幼児には、本人、保護者の氏名、住所を書いた名札などをつけましょう。

防犯はまもる心がまもられる

須賀区が防犯モデル地区として指定されて、地道な活動をくりひろげています。このようなモデル地区ができたからといって油断は禁物。

△カギは窓にも心にも!!

△ルスのときの頼み合い

△防犯ベルの設置

△街路を明るく

このようなことに気をくばりましょう。

御宿中、バレーに初優勝

県下新人大会で



連日の猛練習が栄冠に輝いた

六人制バレーボール新人戦で、御宿中学校男子チームが県大会において初優勝しました。

大型の素質のある選手の多いメンバーですからこれからの活躍が大いに楽しみです。

表彰

十一月十六日、勝浦市民会館で開かれた、千葉県観光大会において、柳健吉氏は多年観光発展につくしたにより、県観光協会長より表彰されました。

旧長崎医科大原爆被爆学生遺族に特別支出金がでます

特別支出金は、旧長崎医科大学の学生で、昭和二十年八月九日、同大学において原子爆弾に被爆したことにより死亡したものの遺族に支給されます。

特別支出金の額は、被爆学生一人につき七万円。

特別支出金を受けるべき遺族の範囲は、つぎのとおりです。

一、配偶者

二、子

三、父母

四、祖父母

五、兄弟姉妹

などとなっています。該当すると思われるかたは、勝浦保健所または役場住民課窓口へおたずねください。

前町長、名誉町民、勲五等井上文吉氏の胸像建立除幕にあたりその功を偲ぶ

詩 岬風子

冬 驕

蒼天ふかく

その 直下

あざやかに白布が流れる

煌々と生れる

代の胸像が

玲瓏として

大気をひきしめている

初冬の朝

あまねく

天日をあびながら

はらからの

つどいの調べとなる

かつて

二十余年の

まつりごとの

代の「まなこ」が

いま

輝がやかに

かぎりなく

八千の祈りの「まなこ」と

なっている

その仁

その徳

わが町のしるべをつくる

偉大なるかな

ひらけゆくわが町よ

そのあきつみが

殻のない虹蝸のように

美しく

(昭和四十八年十月二十八日)

育英奨学制度をご存知？

読売新聞社では、働きながら、自分の力で東京およびその周辺の大学または、東京理工専門学校に通学する学生に対して、奨学資金を貸与し、有為の人材の養成にとめることを目的とした「育英奨学制度」を行なっていますが、現在、その来年度の奨学生を募集中

東京都千代田区大手町

一の七の一

読売新聞社内

読売育英奨学会事務局

発行所 千葉県御宿町役場

発行責任者 岩井敏夫

編集者 加藤長

若潮国体を成功させよう

親切いっぱい 道にも まちにも 車内にも

◎ 会期

夏季大会 昭和48年9月9日

12日

秋季大会 昭和48年10月14日

19日

善意

神戸屋さんより公民館へジグザグシン一台を寄贈していただきました。

人口

(11月末現在)

	と較	前月
	比	の
	較	比
男	8	3,908
女	10	4,561
計	18	8,469
世帯数	5	2,167